

第 37 回日本助産学会学術集会

会場開催 WEB 開催

日時 10 月 8 日(日)～9 日(月・祝)／現地会場＋ライブ配信

10 月 8 日(日)～11 月 30 日(木)／オンデマンド配信

会場 聖路加国際大学聖路加臨床学術センター(東京都中央区)

テーマ 社会の変化に呼応する助産ケアの創出と実装

プログラム 会長講演 片岡弥恵子(聖路加国際大学)／シンポジウム「エビデンスを集積し政策をつくる」稲田千晴, 片岡弥恵子, 加藤美佳／「周産期女性と家族の意思決定を支える―意思決定エイドと支援の実例」有森直子, 穴戸恵理, 朝澤恭子, 千葉(北園)真希／「ポストコロナのメンタルヘルスを支える―妊産婦への認知行動療法の実装」蟹江絢子, 横山知加, 中嶋愛一郎, 岡津愛子／「流産, 死産後の切れ目のないグリーフケアの実装のために」石井慶子, 森山幸枝, 土方由香／「With／Post コロナにおける新人助産師の教育を考える」山本智美, 山本真実, 牧田ゆかり, 三浦友理子／「2 年間の助産師教育を考える」村上明美, 黒川寿美江, 井本寛子／「在住外国人への支援」西野裕子, 成島三長, 新居みどり／「助産師によるハイリスク妊産婦および医療的ケア児を対象とした訪問看護ステーションの活動と今後の在り方」安達久美子, 岡本登美子, 安宅満美子, 岡本美和子／「虐待防止と多職種連携」山岸由紀子, 中板育美, 新村順子／「実装科学でエビデンスに基づくケアを妊産婦へ届けよう」中山健夫, 齋藤順子, 小田原幸, 内田朋子／「助産師のエンパワメント―助産の本質」宗祥子, 渡辺愛, 吉田夕日／「Abortion Care ―助産師のベストパフォーマンスとは」中込さと子, 栢淵恵美子, 五十嵐ゆかり, 芳賀亜紀子／「助産師の専門性の発揮に向けて―日本看護協会調査結果から」井本寛子, 島田真理恵, 中村早希／「実践家が博士課程で学ぶということ」内田朋子, 小澤千恵, 加藤美佳／「世界の助産―ICM の活動を深掘しよう!」谷口初美, 常田裕子／「“無痛”分娩で失うものを問う―赤ちゃん, ママ, 文化の視点から」北島博之, 松岡悦子, 齋藤麻紀子／ワークショップ「明日からの教育教材づくりに役立てよう!―最新の患者教育資料の評価方法―最新の患者教育資料の評価方法(Patient Education

Materials Assessment Tool : PEMAT)」巖千晶, 園田希, 古川恵美／「より良い助産ケアを考える―診療実践ガイドラインの基礎知識とエビデンスに基づく助産ガイドライン―妊娠期・分娩期・産褥期 2020 を参考に」上田佳世, 白井由利子, 豊本莉恵／「選ばれる学会誌をめざして」春名めぐみ, 白石三恵, 疋田直子, 藤田愛, 高岡智子, 安積陽子, 米澤かおり, 大田えりか／「助産学生共用試験の実装に向けて」金田嘉清, 渡邊浩子, 眞鍋えみ子, 石川紀子／「いま, 現場が大変! 早期に母乳を止めようとする母子・家族への支援」金子美紀, 宮下美代子, 武市洋美, 吉田みち代／「そのエビデンスどう使う? RCT を批判的に吟味しよう!」南郷栄秀／CLoCMiP 必須研修「女性に対する暴力の予防と支援―妊娠中のパートナーからの暴力(IPV)の適切な発見と対応のための基礎知識」キタ幸子／「意思決定支援」有森直子／ほか

参加登録 9 月 30 日(土)まで

登録方法 下記 Web サイトの登録フォームより

HP <https://confit.atlas.jp/guide/event/jam37/static/registration>

参加費 会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 5000 円, 会員学生無料, 非会員学生 4000 円

問い合わせ先 学術集会事務局

株式会社インターグループ内

〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-20-1 インターグループビル

TEL 06-6372-3052

FAX 06-6376-2362

E-MAIL jam37@intergroup.co.jp

HP <https://www.jyosan.jp/>

第 39 回日本分娩研究会

会場開催 WEB 開催

日時 10 月 12 日(木)／現地会場

10 月 26 日(木)～11 月 27 日(月)予定／オンデマンド配信

会場 大阪大学コンベンションセンター MO ホール(大阪府吹田市)

テーマ 他分野からの視点で, 分娩の本質を炙り出す

プログラム 会長講演「分娩とは?」遠藤誠之(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授)／教育講演「文化・社会の視点から炙り出す」「世界

の出産：所変われば品変わる，でも変わらないものは？」松岡悦子(奈良女子大学名誉教授)／「生まない親子関係から見た分娩の本質」白井千晶(静岡大学人文社会科学部教授)／ほか

参加登録 11月27日(月)正午まで

登録方法 下記 Web サイトの登録フォームより

HP <https://med-gakkai.jp/39bunben/jizen/>

参加費 一般 6000 円，学生 2000 円

※学生は，参加登録後，学生証の写し(スキャンデータ等)を運営事務局に送る

問い合わせ先 運営事務局

株式会社メッド大阪営業所

〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田 2-5-14

TEL 06-4802-6661

FAX 06-4802-6662

E 39bunben@med-gakkai.org

HP <https://med-gakkai.jp/39bunben/>

第 64 回日本母性衛生学会 総会・学術集会

会場開催 **WEB 開催**

日時 10月13日(金)～14日(土)／現地会場

10月16日(月)正午～11月20日(月)正午／オンデマンド配信

会場 大阪国際会議場(大阪市北区)

テーマ 母性衛生の夢と未来を語ろう

プログラム 会長講演「海外の医療現場でふと思ったこと」大橋一友(大手前大学国際看護学部教授)／理事長講演「母体感染を再考する。」正岡直樹(日本母性衛生学会理事長／東京女子医科大学産婦人科特任教授)／特別講演 01「心筋再生医療の現状と展望」澤芳樹(大阪警察病院院長／大阪大学名誉教授／日本再生医療学会前理事長)／02「新型コロナウイルス感染症 3 年を振り返って」忽那賢志(大阪大学大学院医学系研究科感染制御学教授)／03「わかりあえないことから—コミュニケーション能力とは何か」平田オリザ(劇作家／芸術文化観光専門職大学学長)／04「セクシャルリプロダクティブヘルス・ライツの原点としての母性衛生」木村正(大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室教授／日本産科婦人科学会理事長)／教育講演 01「『かわいい』の科学」入戸野宏(大阪大学大学院人間科学研究科認知心理生理学研究室教授)／02「サステナブルな産婦人科救急体制構築—産婦

人科診療相互援助システム(OGCS)を中心に」光田信明(大阪母子医療センター病院長／大阪産婦人科医会会長)／03「母子手帳を通じた国際母子保健の夢と未来」中村安秀(日本 WHO 協会理事長／大阪大学名誉教授)／04「看護師の働き方改革」高橋弘枝(日本看護協会会長)／05「胎児心拍数モニタリングの歴史と未来」村田雄二(ペルランド総合病院周産期医療研究所所長／大阪大学名誉教授)／06「母乳育児の世論を含めた現状と今後の課題」河合蘭(出産ジャーナリスト)／07「男性が当たり前育児ができる社会を—父親支援の今」小崎恭弘(大阪教育大学教育学部健康安全教育系教授／大阪教育大学附属天王寺小学校校長)／令和 5 年度学会指定研修プログラム A 専門特化分野編「認知行動療法に学ぶ周産期のメンタルヘルスケア」三田村康衣(国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター)／B 研究の基礎編「エビデンスに基づく実践—母子保健・リプロダクティブヘルスの向上にむけて」森恵美(日本母性衛生学会副理事長／千葉大学大学院看護学研究院教授)／シンポジウム 01「高年妊産婦支援の未来」／02「子宮頸癌撲滅の未来戦略」／03「アジアの母性衛生の夢と未来 Prospective postpartum midwifery in Asia」／04「科学で育児を支える」／05「出生前診断から胎児治療へ」／ほか

参加登録(事前、当日) 9月25日(月)正午～11月20日(月)正午

登録方法 下記 Web サイトの申込フォームより

HP <https://www.congre.co.jp/jsmh64/registration.html>

参加費 会員 1 万 4000 円，非会員 1 万 6000 円

問い合わせ先 運営事務局

株式会社コングレ内

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-6-13

TEL 06-6229-2561

FAX 06-6229-2556

E jsmh64@congre.co.jp

HP <https://www.congre.co.jp/jsmh64/index.html>

第 19 回日本周産期 メンタルヘルス学会学術集会

会場開催 **WEB 開催**

日時 10月28日(土)～29日(日)／現地会場

11月1日(水)～30日(木)(予定)／オンデマンド

配信

会場 一橋講堂(東京都千代田区)

テーマ 多職種で支える周産期リエゾンのバトン
—皆の“育つ”“生きる”を支える

プログラム 会長講演「多職種で支える周産期リエゾンのバトン」竹内崇(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当准教授)／特別講演1「子どもの虐待予防と妊娠期・周産期からの妊産婦支援」鷺山拓男(とよたまこころの診療所所長)／2「ステップファミリー支援と新しい家族観—子どもの視点からの再検討」野沢慎司(明治学院大学社会学部教授)／シンポジウム1「地域包括ケアを支える周産期リエゾン—各職種の立場から」秋山千枝子(あきやま子どもクリニック院長)、堀川直希(コミュニテ風と虹のぞえの丘病院院長)、岩永成晃(コミュニテ風と虹のぞえの丘病院のぞえ周産期メンタルヘルス研究所所長)、山岸由紀子(産前産後ケア推進協会訪問看護ステーションco-co-ro 管理者)、安田貴昭(埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック准教授)／2「周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド2023を上手に使いこなそう！」根本清貴(筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学准教授)、菊地紗耶(東北大学病院精神科講師)、相川祐里(済生会横浜市東部病院こころのケアセンター心理室課長)、雨宮怜(筑波大学体育系・アスリートメンタルサポートルーム助教)、宮崎弘美(ふくしま心のケアセンター、臨床心理士・公認心理師)／3「“育つ”“生きる”を支える医療・自治体の取り組み」伊角彩(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学分野講師)、高澤啓(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野学内講師)、伊藤亜希(東京医科歯科大学病院医療連携支援センター医療福祉支援室ソーシャルワーカーマネージャー)、馬場香里(東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター主席研究員)／認知行動療法セミナー 松永美希(立教大学現代心理学部心理学科教授)、横山知加(日本学術振興会特別研究員(RPD)、国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター外来研究員)、蟹江絢子(東京大学医学部附属病院こころの発達診療部、児童精神科医師)／ワークショップ「ゲートキーパー研修～自殺防止のために支援者ができること」西村由紀(メンタルケア協議会理事)／研修・教育

①発達障害 藤平和吉(群馬大学医学部附属病院精神科神経科病院講師)／②薬物療法 清野仁美(兵庫医科大学精神科神経科学講座講師)、③母子のための地域包括ケアシステム 井本寛子(日本看護協会常任理事)／ほか

参加申込 [事前参加] 9月30日(土)まで、[通常参加] 10月1日(日)～29日(日)

参加申込方法 下記 Web サイトの申込フォームより

HP <https://procomu.jp/pmh2023/jizen.html>

参加費 [事前参加] 会員(不課税)1万円、非会員(課税)1万1000円、学生1000円、[通常参加・オンデマンド配信期間] 会員(不課税)1万1000円、非会員(課税)1万2000円、[ワークショップ] 1000円

※学生(大学院生は含まない)は、学生証または在学証明書に参加登録フォームに添付

問い合わせ先 学会運営担当

株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館9階

TEL 03-5520-8821

FAX 03-5520-8820

E-MAIL pmh19@procom-ijp

HP <https://procomu.jp/pmh2023/index.html>

第32回日本新生児看護学会

会場開催

日時 11月3日(金・祝)～4日(土)

会場 パシフィコ横浜会議センター(横浜市内西区)

テーマ 愛すべき明日へつなぐ新生児看護

問い合わせ先 運営事務局

株式会社サンプラネットメディカルコンベンションユニット

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル6階

TEL 03-5940-2614

FAX 03-3942-6396

E-MAIL jann32@sunpla-mcv.com

HP <https://www.jann.gr.jp/>

※掲載している情報は8月25日時点のものです。最新の情報は主催元にご確認ください。